

## 鉄道のまち -美濃太田駅開業100年- 文化の森 ☎28-1110

今年で美濃太田駅は開業100年。「鉄道のまち」の歴史の一部を紹介していきます。



1921-2021

### ② 美濃太田駅前道路の建設

美濃太田駅が開業した大正10年頃、貨物の輸送は荷馬車や徒歩で荷車を引くのが一般的でした。開業当時はまだ現在のような駅前道路がなく、駅の西側を通り、太田と山之上を結ぶ「山之上街道」が最寄りの道路で、たくさんの人や貨物の往来で大混雑しました。そのため、駅から南へ延びる現在の駅前道路が計画され、駅開業3年後の大正13年に完成しました。「八間道路」と言われた道路は木曾川から人力で運ばれた砂利敷の道で、荷車の通行は大変でした。アスファルト舗装されたのは昭和27年のことです。

駅前道路の完成により、中山道で旅館や茶屋を営んでいた磯谷屋や亀屋、沢屋などが駅前通りに移転し、他にもさまざまな商店が開業するなど、中山道にかわって新たな「駅前商店街」が形成されていきました。

大正10年の美濃太田駅の年間

乗降客はそれぞれ約2万7千人でしたが、昭和に入ると13万人近くになり、駅前通りはますますにぎわうようになりました。



▲昭和初期と思われる美濃太田駅前 (昭和40年代ごろ)



▲美濃太田駅前の商店街 (昭和40年代ごろ)

文化の森企画展「鉄道のまち」展  
(12月18日～3月6日)を開催  
美濃太田駅や鉄道に関する写真や  
情報を文化の森までお寄せください。